

教科(科目)	芸術(書道 I)	単位数	2 単位	学年(コース)	4 学年(選択)
使用教科書	書 I、書 I プライマリーブック (教育図書)				
副教材等					

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。</p> <p>②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切にする思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。</p> <p>③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～</p> <p>①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。</p> <p>②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。</p> <p>③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。</p> <p>④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。</p>

2 学習目標

<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
--

3 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の学習では、様々な書風にふれることによって鑑賞と表現の能力を高める。 ・仮名の学習では、その成り立ちを理解し、美しさや表現方法を学んでいく。 ・漢字仮名交じりの書の学習では、身近にある題材や自らの思いや感動を表す語句を選んで表現し、芸術的な表現を高める。 ・鑑賞では、見ることを楽しみ、書の美しさや表現効果を味わい、書の伝統や文化についての理解を深める。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
-------	----------	---------------

<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に書の表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
---	---	--

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品の内容、完成度 ・授業への取り組み などから、評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や鑑賞への姿勢 ・授業への取り組み などから、評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への取り組み ・作品の提出状況 などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	書へのいざない	2 「鑑賞」	学習内容に該当する項目	○(鑑賞) 芸術としての「書」について知る。	6	・鑑賞への姿勢
5	漢字の書の学習	1 2 「表現」 「鑑賞」	同上	○楷書の古典を臨書する。 ○行書の古典を臨書する。 ○表現を工夫して書く。	6	・表現を工夫して書く ・表現への姿勢
6	漢字仮名交じりの書の学習	1 4 「表現」	同上	○表現を工夫して書く。(文化祭作品の制作)	1 7	・表現を工夫して書く ・表現への姿勢
7						
9	漢字の書の学習	6 「表現」	同上	○篆刻について知り、印を彫る。 ○文化祭作品の制作	6	・表現を工夫して書く ・表現への姿勢
10	仮名の書の学習	1 4 「表現」 「鑑賞」	同上	○仮名の基本用筆を練習する。 ○平安～鎌倉時代の古筆を臨書する。	1 2	・表現を工夫して書く ・表現への姿勢
11						
12	漢字仮名交じりの書の学習	6 「表現」	同上	○はがきやのし袋の書き方について理解し、ていねいに書く。	8	・表現を工夫して書く ・表現への姿勢
1	仮名の書の学習	7 「表現」 「鑑賞」	同上	○俳句や短歌を使い、仮名の創作をする。	6	・表現を工夫して書く ・表現への姿勢
2	漢字仮名交じりの書の学習	6 「表現」	同上	○漢字と仮名の調和に注意して硬筆で書く。	8	・表現を工夫して書く ・表現への姿勢
3	創作	6 「表現」	同上	○これまでの学習をもとに線質や構成などを工夫し、自分らしく表現する。	4	・表現を工夫して書く ・表現への姿勢

計 73 時間 (48 分授業)

7 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> ・授業で書いたものや篆刻で彫った印などを必ず提出する。

7 担当者からの一言

書道Ⅰでは、これまで培ってきた書写の能力を向上させることの他に、和漢の古人の書を対象に、さまざまな書の美に触れ、感性を磨いていってほしい。そしてこれらの活動を通じて自己表現することの楽しさを実感してほしい。（担当：渡辺 千華）